

平成30年第1回議会定例会（諸般の報告）

開会に当たり、諸般の報告を申し上げます。

はじめに、「小中学校のエアコンの整備の見直し」について申し上げます。

昨年、第3回市議会定例会において一般質問に答える形で、平成31年度までに整備したいと答弁し、その後の議会においてもそのように答弁してまいりましたが、本年1月4日の行政経営戦略会議の際、財政状況が昨年議会で答弁した時と現在とで大きくかい離していることがわかり、早急に精査しなければならないものと考えました。

そこで、考え抜いた結果、今一度立ち止まるべきと判断し、エアコンの整備については、平成33年度からスタートする後期基本計画・後期実施計画に位置付けた上で、将来の財政状況を踏まえながら、優先的に整備していくことといたしました。

期待をさせてしまった児童・生徒、保護者や議員、関係者の皆様に対しお詫び申し上げます。

子どもたちの学習環境の改善を図り、将来の白井を担う大切な人材を責任持って育てていきたいという想いには変わりはありませんが、一方で、健全なままの白井市を未来に引き継いでいくことも、私にとっては重大な使命でございます。

これまで平成31年度に全小中学校にエアコンを整備すると説明してきましたが、これを実現できないことを、私自身、重く受け止めており、自分への戒めを今定例会において明らかにしたいと考えております。

続きまして、「白井市役所全庁開庁・印西警察署白井分庁舎開庁式典及び内覧会」について申し上げます。

平成28年より工事を進めてきた庁舎整備工事が来月末で終了し、

5月7日にいよいよグランドオープンを迎えます。市役所のグランドオープンを祝して、4月30日午前10時より東庁舎1階エントランスホール及び多目的スペースにて、全庁開庁式典を執り行います。

今回は、東庁舎に印西警察署白井分庁舎も配置されることから印西警察署と合同で開庁式を開催することといたしました。

式典には、市関係者、近隣自治体の首長・議長、警察関係者、工事関係者などを招待いたします。また、併せて、同日午後1時より市役所の内覧会を市民の皆様を対象に開催します。内覧会では、主に1階の市民活動の拠点となる「しろい市民まちづくりサポートセンター」や4階の「議場」などを内覧していただく予定です。

次に、「チャレンジドオフィスしろいの実施」について申し上げます。

市では、「白井市障害者計画」に基づき、障害者の雇用を促進するための支援に取り組んでまいりました。今回、その方策の一つとして、行政が率先して障害者の就労支援に取り組み、知的障害者や精神障害者などの雇用を促進するため「チャレンジドオフィスしろい」を実施することといたしました。

平成30年7月に保健福祉センター執務室内にオフィスを開設する予定で現在、準備を進めており、市役所内各課から業務を受注し、事務補助や軽作業を行っていただく予定です。障害者就業・生活支援センター等の支援機関と連携を図りながら、障害者の募集を行い、2名を雇用することとしております。

次に、「災害時における福祉用具等物資の供給等協力に関する協定の締結」について申し上げます。

市では、災害から市民の生命、身体及び財産を守るため、防災関係団体の他、民間企業・事業所のご理解とご支援をいただき、避難場所や医療・土木・給水・物資の提供など、様々な災害時の応援協定を締結しており、皆様のご協力をいただいているところです。

この度、「災害時における福祉用具等物資の供給等協力に関する協定」を本年2月6日に、白井市と一般社団法人日本福祉用具供給協会との間で締結いたしました。

この協定は、災害時または災害が発生する恐れがある場合において、市からの要請に基づき、一般社団法人日本福祉用具供給協会から、ベッドなどの介護用品や衛生用品といった福祉用具等物資の供給を受けることで、それらを必要とする要配慮者の方々の避難生活の早期安定を図るものです。

この度の協定締結により、官公庁20団体、民間52事業所と、災害時の応援協定を締結することができました。

今後も、行政・防災関係団体・民間事業者及び市民団体等と連携・協力を図りながら、「災害に強いまちづくり」を進めてまいります。

最後に、「シティプロモーション」について申し上げます。

白井市では、昨年4月から「しろいの魅力発信課」を新設し、シティプロモーション活動を展開しておりますが、白井の魅力をより多くの方に知っていただくため、新たな取り組みを開始しました。

1つ目は、白井市のシティプロモーション動画の作成です。

動画は、60秒の予告編と3分40秒の本編の2本立てとなっております。白井市民とともに、しろいふるさと大使の「ホリさん」と「岩井ジョニ男さん」にご出演いただいております。

この動画は、白井市を知らない人に、市の名称、場所、イメージ等を広く知っていただくために制作したものです。キャッチフレーズである「しろいはまっしろ はじまりのまち」という言葉に込められた、「白井では、何色にも染まっていない、自分らしい生活が描ける」という思いと、その言葉をサポートする「しろいの魅力」を歌に乗せて表現しています。

2つ目は、白井市の魅力を伝えるプロモーションツールの作成です。

今回、プロモーションツールとして、ポスター、クリアファイル、法被、リーフレット等を制作します。これを市内外のイベントの際に活用し、市のPRを進めてまいります。

3つ目は、本市のように、色そのものが地名になっている「色」にゆかりのある日本各地の駅に、ご挨拶ポスターを掲出します。

具体的には、西は兵庫県丹波市にある「くろい駅」（黒井駅）、北は北海道札幌市の「しろいし駅」（白石駅）、東京都にある「あおい駅」（青井駅）などに、その色を使ったポスターを掲示して、白井市の魅力を面白く楽しく伝えることで、広く白井の魅力を知ってもらえるようプロモーション効果の向上を図ります。

4つ目は、市民公募により結成した「なし坊サポーターズ」です。

市のマスコットキャラクターのなし坊とともに「しろいの魅力」を発信するため、市民の皆様から広く公募いたしました。現在、10名と2団体のみなさまが公認サポーターとして活動を始め、日常生活の中で得られる「しろいの魅力」を独自に取材し、市の公式アカウントフェイスブック・Instagramの「しろいの魅力市場」上で発信し、市のイメージアップと認知度向上を目指していきます。

また、3月1日には、なし坊サポーターズが集めた「しろいの魅力」の詰まった広報紙「広報しろい特別版」を発行する予定です。

今後については、今回作成したさまざまなツールを活用しながら、「しろいの魅力」を発信して、白井の認知度向上、定住人口の増加、活性化を図っていきたいと考えております。

以上で諸般の報告を終わります。